第7章 取り組むべき課題

公共交通や公共交通を取り巻く環境に関する現状と問題点から、本計画において取り組むべき課題を整理しました(カッコ内の番号は対応する現状・問題点)。

課題1

既存資源を活かした効果的・効率的な地域公共交通網の再構築

(12356789)

限られた財源の中で公共交通を維持し利便性を高めるためには、幹線・支線の役割を明確にした上で、既存資源(車両・運転手)を効果的・効率的に活用し、ニーズに即した地域公共交通網の再構築を行う必要があります。

課題2 地域間格差の解消に向けた運行形態の見直し

(1468)

六日市地域と柿木村地域のデマンド型乗合交通・スクールバスの地域間格差を解消する ために、運行形態の見直しを図る必要があります。

課題3 交通結節点の明確化と待合環境の改善

(1)

柿木村地域では、六日市地域に行く場合に乗り継ぎが必要になるため、交通結節点を明確にした上で、乗継の不安や不便を解消するために待合環境を改善する必要があります。

課題4 タクシー事業の存続に向けた取組

(19)

タクシーは柔軟できめ細やかなサービスを提供できることが強みであり、移動制約者の 生活を支える地域公共交通として重要な役割を担っているため、タクシー事業の存続に 向けてタクシー事業の収益増や運転手確保に繋がる取組が必要です。

課題5 住民と来訪者にとって分かりやすく使いやすい環境整備 (①⑩⑪⑫)

本町の主な公共交通利用者は高齢者であることから、特に分かりやすい情報提供やバリアフリーへの対応が求められます。車両や停留所等のハード面、情報提供等のソフト面の両面において、分かりやすく使いやすい環境整備が必要です。

また、来訪者が移動手段の1つとして公共交通を選択できるように、観光施策との連携が必要です。

課題6 関係者の連携・協働による利用促進等の取組強化

(12113)

地域公共交通を持続可能なものにするためには、町民、各種団体、交通事業者、行政等の関係者が課題や目標を共有した上で、連携・協働し、「町民自ら公共交通を守る意識」の醸成を図るとともに、利用促進の取組強化や、地域の活性化につながる公共交通の新たな活用を検討する必要があります。

① 更なる高齢化の進展に伴う 公共交通ニーズの高まり ② 利用者の減少に伴う町の財政負担

の増加

③ 時代の変化に伴い広域線の役割が

現状・問題点

- 不明確に ④ 公共交通が利用できない地域の
- ⑤ 住民の生活圏と移動ニーズに 合わないダイヤ

存在

- ⑥ 利用されていないスクール便と スクールバスの運行形態の地域差
- ⑦ 六日市と七日市間の非効率な運行
- 8 六日市地域中心部の商業施設への 公共交通によるアクセス性の低さ
- ⑨ タクシーを取り巻く環境の厳しさ
- ⑩ 交通結節点が不明確で停留所環境の整備が不十分
- ① 新たな利用者の掘り起こしに 向けた情報提供や取組が不十分
- ② 観光客への情報提供ツールが 未整備
- ③ 関係機関の連携が不十分

課題

課題1

既存資源を活かした効果的・効率 的な地域公共交通網の再構築

課題2

地域間格差の解消に向けた運行形 態の見直し

課題3

交通結節点の明確化と待合環境の 改善

課題4

タクシー事業の存続に向けた取組

課題5

住民と来訪者にとって分かりやす く使いやすい環境整備

課題6

関係者の連携・協働による利用促 進等の取組強化

図表-67 現状・問題点と課題の関係整理